

問題の整理と分析(3)

情報の科学 第7回授業

02情報社会と問題解決

対応データ 19exp06.xlsx(前回)

練習「未来の情報機器」

- ワークシートにある「モノ」の「機能」を「融合」させると、どのようなものができるだろうか
- 機能の一部でも良い。また、形状等でも良い
- フレームワークを思い出して考えてみよう

演習3(5分)

- 練習を参考に、「未来の情報機器」の元となる「モノ」を、順番にどんどん挙げていこう
- ブレインストーミングを用いる
- くれぐれも、「批判の禁止」!
- 記録係がワークシートに記録する
- 情報機器だけでなく、一見関係なさそうなものもたくさん挙げておくと良い

アイデアを整理する方法

「カードを用いたアイデア整理法」(P.95)

1. ブレインストーミング等が出てきた内容を、グループ分けする。
2. グループごとに、簡単に名前をつける。
3. 似たもののグループは近くに配置
4. それらを眺め、典型的なストーリーを。

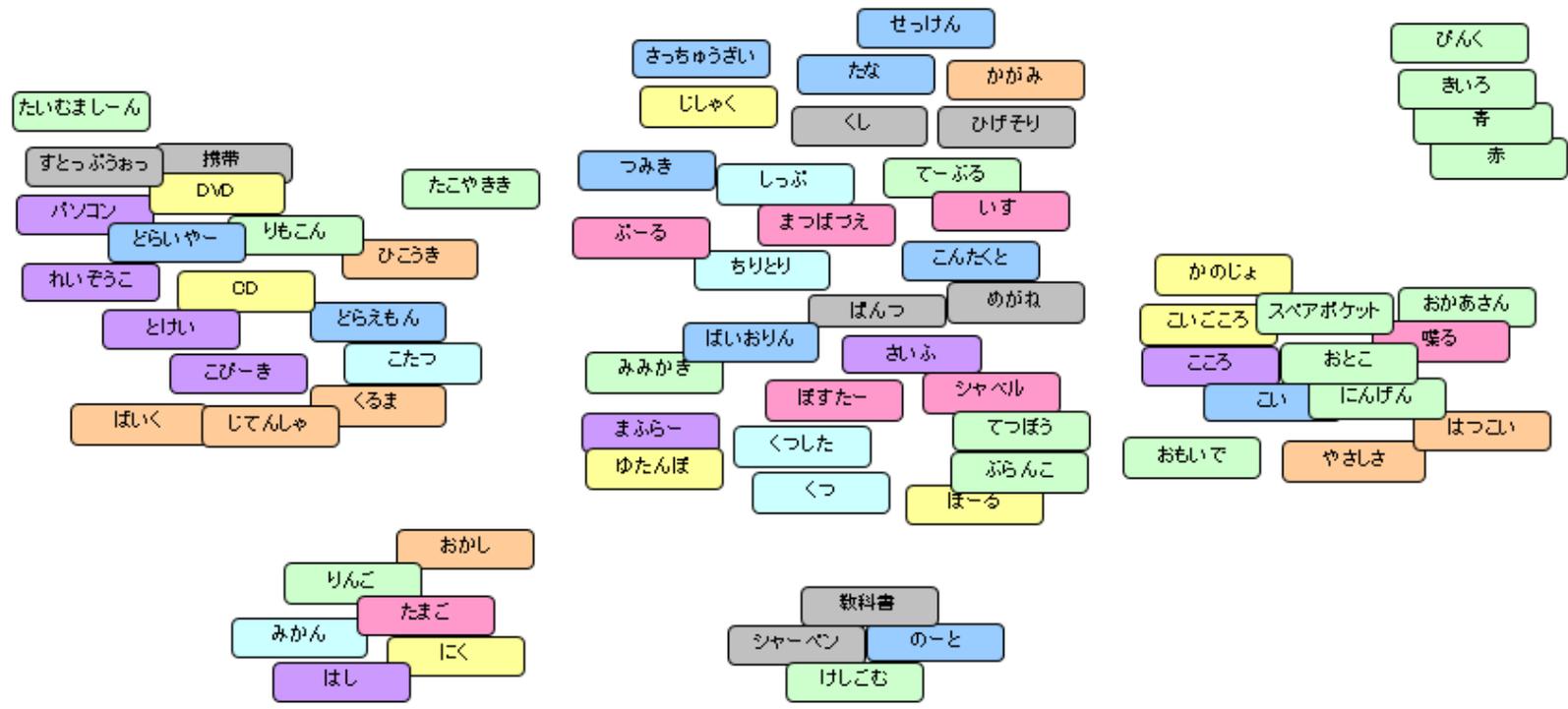
STEP1 まずは4~5カテゴリーに

1
2
3
4
5 ※下にコピーをしておいたのて利用する。追加するには、「CTRL」キーを押しながら上の部品をドラッグすると複製されるので、複製してから文字を入ると良い。



6
7 製品名:
8 機能:
9
10

すいじょうき
ちっそ

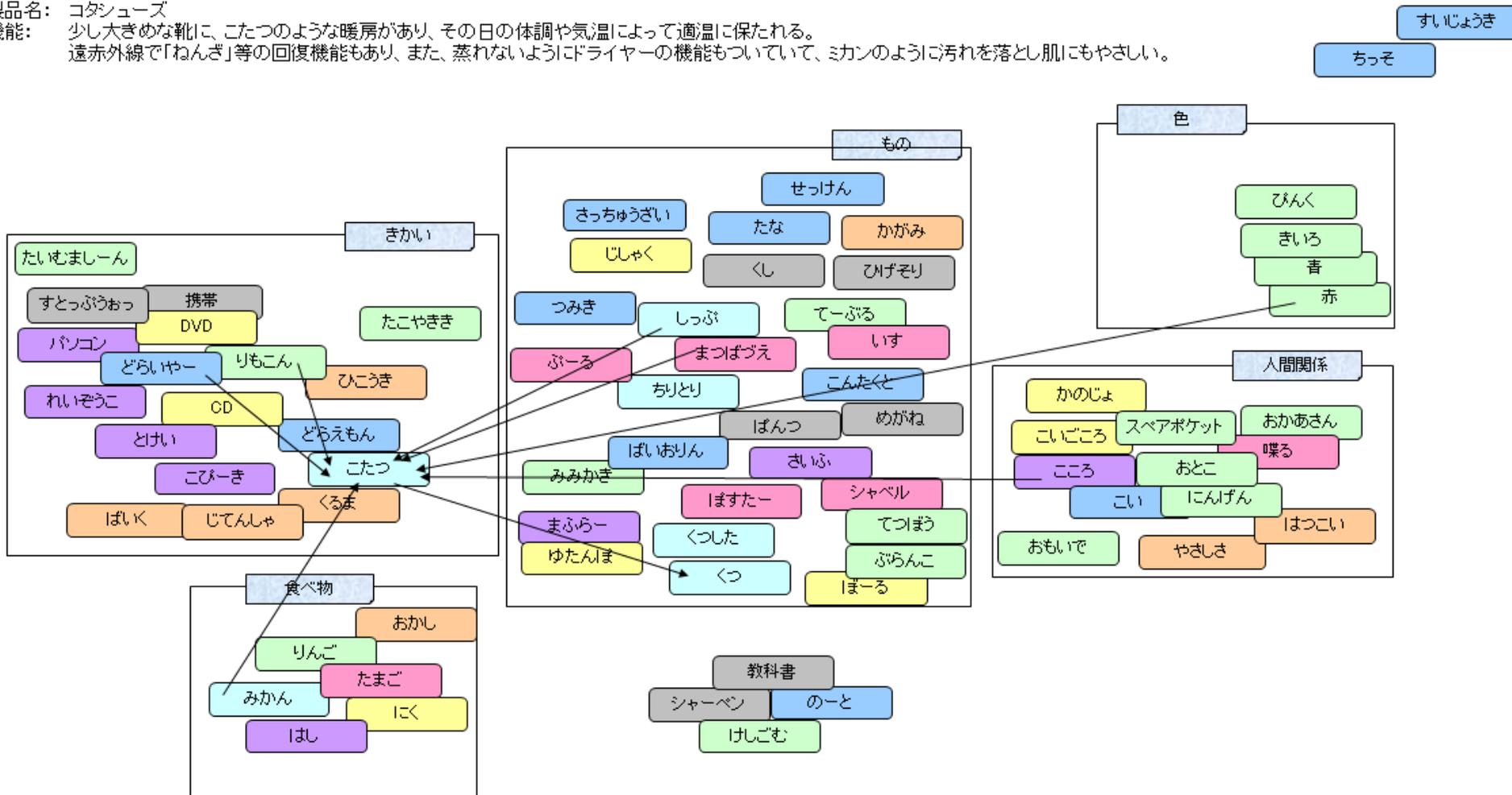


11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45

STEP2 融合させて解釈する

製品名: コタシューズ

機能: 少し大きめの靴に、こたつのような暖房があり、その日の体調や気温によって適温に保たれる。
遠赤外線「ねんぎ」等の回復機能もあり、また、蒸れないようにドライヤーの機能もついていて、ミカンのように汚れを落とし肌にもやさしい。



演習4(10分)

- 例を元に、「未来の情報機器」を考えよう。
- グループで1つ考えれば良い。
- 機能を具体的に記し、名前をつけよう
- グループごとに順番に発表してもらいます。
 - 発表者は抽選で決めます
 - 自分が発表するつもりで積極的に取り組むこと！